

平成31年4月7日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

プロフィール

経歴
 1952(昭和27)年 尾花沢市市野々(山刀伐峠)生まれ
 1971(昭和46)年 県立楡岡高校卒業・県職員採用
 1991(平成3)年 山形市議会議員に初当選(4期連続)
 2007(平成19)年 山形県議会議員に初当選(3期連続)
 文教公安常任委員会委員、産業振興対策・働き方
 改革特別委員会委員、社民党山形県連合代表、
 南沼原地区町内会連合会顧問、南館ふれあい会館顧問

吉村県政を支え政策実現に取り組みます

持続可能な活力ある社会をつくる

県民所得の向上! ~対話する温もりの県政~ 若者の県内定着!

- 1 働く人を大切にします**
 ◆地元企業の育成、新産業の創出による若者の雇用拡大。
 ◆非正規社員から正規社員への転換、同一労働同一賃金による労働環境の改善。
- 2 医療と福祉を充実させます**
 ◆保育所待機児童の解消と子育て環境の更なる整備・医師確保による医療の充実。
 ◆高齢者や障がい者の社会参加促進、介護環境の充実。
- 3 農業を守り育てます**
 ◆基幹産業の農業を育成し、所得向上につながる支援体制の確立。
 ◆県産農産物の販路拡大など、TPP・日欧EPA対策の実施。
- 4 山形らしい教育を推進します**
 ◆一人ひとりの個性を生かし、学ぶ喜びを大切にしたい探求型学習の推進。
 ◆特別な支援を要する児童・生徒に対する支援教育や医療的ケア体制の充実。
- 5 安全・安心な生活環境を確保します**
 ◆豪雨災害に備え、河川の流下能力向上・崖崩れ危険箇所の改修と住居移転の促進。
 ◆防災教育、自主防災組織への支援等による地域防災力の充実・強化。
- 6 公営施設の安易な民営化を阻止します**
 ◆安全で安価な水を維持するため、民営化を許さず、公営による水道事業の堅持。
 ◆本県の歴史と文化、教養の拠点として、公営による県立図書館の機能充実。

「今日より明日を豊かに暮らしたい」しかし、現在の政治の流れは大企業が優先され、人々の不安が一層増すような方向へと進んでいます。政治の役割は、不安を解消し希望をもって安心して暮らせる環境をつくることだと思います。その環境づくりに向け、皆さんと一緒に取り組んで参ります。



高橋 けいすけ
 社民党公認

大好きな山形!! みんなでもっと良くします!!

輝ける山形の未来を 進める山形創生



自由民主党公認
金沢忠 ちくづみ

プロフィール

昭和25年 元山形市長金沢忠雄の長男として沼木に生まれる
 昭和38年 山形市立南沼原小学校卒業
 昭和41年 山形市立第三中学校卒業
 昭和44年 日本大学山形高等学校卒業
 その後日本大学文理学部に進学
 山形県農業共済組合連合会(NOSAI)に勤務しながら山形市立第十中学校PTA会長や山形市消防団第21分団長として地域活動に力を注ぐ
 平成13年 県議会議員補欠選挙で初当選(現在五期目)
 平成25年 第58代山形県議会副議長
 平成27年 自由民主党山形県連幹事長

安全・安心な地域づくりを目指す!

- ◆災害に強い危機管理体制の確立
- ◆フル規格新幹線実現に向けた防災トンネルの整備促進

健全な行財政の運営を図る!

- ◆事業評価及び費用対効果による財務の健全化
- ◆行財政改革による組織体制の見直しと事務経費の節減

元気になる企業体系と安心して働ける雇用の確立!

- ◆地元中小企業の経営安定対策
- ◆企業誘致促進による若者・女性の安定雇用の拡大

「食糧供給県 山形」を目指す攻めの農業!

- ◆担い手就農者が期待をもって従事できる支援体制の確立
- ◆県産産物のブランド化による販路拡大

子供たちに未来を! 高齢者は生きがいを!

- ◆結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援体制の確立
- ◆待機者解消のため、保育所並びに介護施設を整備増設
- ◆医師、看護師並びに介護士確保による医療・介護体制の充実

教育・スポーツ・文化観光振興の促進!

- ◆健康推進を図るための生涯スポーツゾーンの設置
- ◆地域観光資源を活用した国内外観光客の誘客促進
- ◆「いのちの教育」推進

初心を忘れず
 「今日流した汗が明日に活きる政治を!」
 そして大好きな山形がもっと良くなるよう、皆さんと共に頑張っていく決意であります。

安倍暴走政治 ストップ

くらしの願いを県政に



日本共産党
渡辺 ゆり子

プロフィール

1952年(昭和27)米沢市生まれ。
 山形大学工学部卒。製薬会社勤務。
 87年(昭和62)山形市議5期。07年県議初当選。
 「現在」山形県議会議員(3期)、新日本婦人の会山形県本部委員、山形民主商工会顧問、やまがた健康友の会副会長。「家族」夫、青田在住。

- 公費一兆円支援で国保税引き下げを
- 子ども医療費は高校卒業まで無料に
- 介護保険の負担軽減を
- 学校給食費の無償化
- 学校の先生の増員を
- 小規模・家族農業支援の強化

新しい県議会に提案します

- 消費税10%増税ストップ
 家計もマイナス、生活が苦しい時に、消費税10%増税はとんでもありません。渡辺ゆり子への一票で増税中止に追い込みましょう。
- 8時間働けば普通に暮らせる社会に
 ○憲法9条を守る

安倍政権に審判を
 県政が住民生活を守る立場に立つよう求めて、今後も力いっぱい働きたいと決意しています。四期目の挑戦です。みなさんのお力で県政に送ってください。

「政治を動かすのは、一人ひとりの住民の方々の願いや結集」との思いで活動してきました。みなさんから寄せられた願いを県政に届け、福祉灯油の継続、学童保育助成、農産物種子条例の制定など、多くのことが実現できました。

平成31年4月7日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

希望輝く“YAMAGATA”へ!!



詳しくはウェブで **政策**

人口減少社会に **まち!ひと** づくりの3つの提案



観光

女性と若者が活躍する
アジアの観光立県
“YAMAGATA”にします

- ◆「トータル・ジョブサポート山形」を拡充し、中心部の公共施設に加えて民間の大型商業施設への設置を進め、利便性と人材育成・あわせん機能を高めます
- ◆アジアの観光立県“YAMAGATA”を目指し、観光産業を拡大させて雇用を増やします

人材育成

新たな“生(いのち)”を
育むまち“YAMAGATA”を
つくりま

- ◆山形で生まれ育つ子どもたちの保育と教育の質・量ともに拡充するために、施設と施策の改編・整備を促進します
- ◆子どもたちの未来を拓く心身の育ちと学びを豊かにするために、多様かつ質の高い教育環境を整えます

高齢者を支える

市民協働のまちづくりで、
老いも若きも支えあう
“YAMAGATA家族”を
つくりま

- ◆「公共施設の複合化・多機能化」と「市民協働支援システム」の構築により、多様な市民の協働によるまちづくりを推進します
- ◆人口減少先進県として、日本とアジアの先進モデル地域にします

立候補のごあいさつ

皆様より真心の御支援を賜り平成23年に県政に送っていただき、この度3期目に立候補を致しました。本格的な人口減少社会への対応が必要な中で県の果たす役割は重要であると思えます。私は、人口減少社会に対応した「まち!ひとづくりの3つの提案(政策)」をいたしました。皆様のお力を賜り、実現に向けて全力で取り組む決意です。

公明党公認
きくち文昭
ふみあき 55才

主な略歴 ●昭和38年10月生まれ ●平成11年 4月 山形市議会議員(3期12年)
●昭和57年 4月 株式会社ダイエー入社 ●平成23年 4月 山形県議会議員(現2期)

夢を語り、かなえる行動力46歳さらに働きます!

これまでの成果

- 住宅リフォーム補助制度の拡充
- “いじめ・非行をなくそう”県民運動の新設
- ガン患者へのウィッグの助成
- 馬見ヶ崎河畔のパークゴルフ場の整備
- 高齢の視覚障がい者の施設創設
- 東原・村木沢線の山大前信号機の設置
- 東日本大震災対応の制度資金の創設
- 農産品の海外輸出の展開拡大
- 両所宮随神門の県文化財登録
- 子ども虐待マニュアルの改訂

これからの四年

- 霞城公園内の体育館の取り壊しに伴う新施設の提案
- 地場産業育成の為の地元企業発注の推進
- 伝統技術の継承と推進
- 高齢者用施設や在宅介護への支援強化
- 農家所得向上の拡大強化
- 大規模イベント等の開催と商店街の活性化
- 蔵王、山寺を結ぶ、最短の観光ルートの整備実現
- スポーツ・文化・芸術の振興

【略歴】

- ・平成7年 吉村和夫秘書
- ・山形県レクリエーション協会会長
- ・山形県インディアカ協会会長
- ・山形市立第一中学校PTA会長
- ・山形県立山形東高等学校同窓会評議員
- ・山形県議会商工観光常任委員長
- ・山形県議会文教公安委員長



吉村
よしむら
かずたけ

**働く、育むに
安心を。**
●正社員化・女性の管理職化等に対する山形県の助成金の増額
●「ダイヤモンド企業」、「フランチナくるみん企業」等、ホワイト企業を税制・入札・補助金等で優遇

**支え合える
社会に。**
●障がい者・ニート・引きこもり等を対象にした自立支援事業の策定
●児童相談所等における専門職採用と相談支援体制の高度化・専門化

**よりよい
社会福祉を。**
●高齢者が安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」を整備拡充
●24時間対応・365日対応・病児・病後児対応型保育園に対する補助・拡充

はじめまして。
山形生まれ、山形育ちの45歳。社会福祉の専門家として「あなたの「生きる」を守りたい」を心に刻み、
吉村県政の政策を更に推し進めるために、頑張ります。何卒、みなさまのお力を原田まさひろにお貸しください。



立憲民主党公認

あなたの「生きる」を守りたい

安心の中で生まれ、年を重ねても希望が持てる未来を。

45歳

原田
まさひろ

原田 和広
(はらだまさひろ)

- 昭和48年山形市生まれ ●山形市立鈴川小学校、山形市立第四中学校卒業 ●山形県立山形東高等学校卒業 ●慶應義塾大学総合政策学部卒業
- ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 大学院政治学部修了 ●ケンブリッジ大学大学院国際関係学部修了 ●(株)セラフィム 代表取締役(H14~現在に至る)
- 東北福祉大学大学院 総合福祉学専攻博士課程在学中 (第47回衆議院議員総選挙 山形県第1区に民主党公認で出馬。46,029票を頂く。)
- 社会福祉士/精神保健福祉士/公認心理師/保育士/キャリアコンサルタント ◎家族/妻・長男・長女・母

平成31年4月7日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

市民の想いを県政へ 夢をかたちに!

これまで、様々なことに取り組んでまいりました!

- 市内への「道の駅」設置を提言→市内2か所に設置検討中
- 2020オリンピックホストタウン構想への参加を提言→台湾・タイ・サモアと交流中
- 子供たちや市民の皆様のご協力をいただいた「日本一の芋煮会フェスティバル」大鍋更新を提言→平成30年3代目「鍋太郎」がデビュー
- 山形市議会議員定数、議員報酬、政務活動費の削減(議会改革検討委員長として)
- 山形市議会議会基本条例の制定(同検討委員として)

これからの山形創造に向けて県と山形市の連携強化を!

- 山形市内の公共施設の再配置
- 山形駅前再開発の促進
- サッカー場を中核にしたまちづくり
- 仙山交流の深化・促進
- 鉄道インフラの土地利用政策・産業振興政策への積極活用
- 医療・介護・子育て・福祉と生活インフラを担う産業での人材確保
- 災害に強い山形市づくり
- 山形らしい独自アイデアでの山形創生

あなたと 未来の山形を 創る!

略歴

昭和45年1月/山形市千歳生まれ
山形四中 山形東高 卒業
平成 4年3月/慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
平成 6年3月/慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程 修了
平成15年4月/山形市議会議員初当選 33歳
平成19年4月/2期当選37歳
平成23年4月/3期当選41歳
平成27年4月/4期当選45歳
現在/県議会議員への挑戦49歳



遠藤 和典

Noと言える議会

今が大事な時

ごとうがやらずに 誰がやる!!

- “夢”の実現に向けて
- ◆JR仙山線の複線高速化
仙台国際空港直結!
 - ◆重粒子線ガン治療機+医療+温泉+観光=医療ツーリズムの街へ!
山形から世界へ、世界から山形へ!
 - ◆県都にふさわしい
スポーツ施設を街なか!

県政に喝!

- 多すぎる 県職員の不祥事に
 - 身内に甘い県政に
 - 不透明な 県事業の発注に
- 新時代の幕開け
新しい県都山形へ
中核都市・山形市との
強固な連携
4/13 東北中央高速自動車
道開通
山形市南部地区を戦略
的に開発
JR仙山線の複線高速化、
仙台空港アクセス線への
直結
子育て県やまがた宣言
出生率の向上を目指す
積極的なスポーツ観光
誘客
「政治塾」の復活
次世代を担う人材育成

このままではいいのか 是非是非



自民党公認
ごとう 誠一

未来へ、暮らしたいふるさとへ、
安心と夢ある山形へ!

私は考えます!
具体的に、一緒に、
ふるさとを
創りあげましょう

子どもたちの 未来のために

自民党

今とこれからをつなぐ、
山形に7つのチカラこぶ。

- ① 中心市街地の活性化にチカラ
- ② 農業の活力・魅力UPと働きがいある環境づくりにチカラ
- ③ 県産品・独自産業の発展と商工観光にチカラ
- ④ 子育てを社会全体で福祉潤うふるさとづくりにチカラ
- ⑤ 女性が輝くバランスに優れた社会づくりにチカラ
- ⑥ 教育こそ近道。スポーツと地域教育力の向上にチカラ
- ⑦ 中小地元企業の支援・若者就労の元気創出にチカラ

まじめに
まっすぐ
山形の力



奥山せいじ

奥山せいじプロフィール・略歴

昭和34年 山形市生まれ
諏訪幼稚園・山十小・山三中卒
昭和53年 山商卒(野球部)
昭和57年 国土館大学政経学部卒(野球部)
新関善久県議秘書を17年間務める

県議会総務常任委員会委員長
// 商工労働観光常任委員会委員長
// 行財政改革危機管理対策特別委員会委員長
山形県開発推進協議会理事
// 信用保証協会理事 等歴任

山形県議会議員〔三期〕
山形県スポーツ振興議員連盟会長
山形県スケート連盟会長
山形県議会骨髄バンクを支援する会会長
国土館大学同窓会山形県支部副会長
山形商業高校野球部OB会「球友会」副会長

平成31年4月7日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

もっと、前へ。豊かさが実感できる山形に!

山形市立出羽小学校、山形市立第七中学校、
県立山形西高等学校、同志社大学卒、
(株)山形テレビ報道制作局勤務。
平成19年山形県議会議員初当選
議会運営委員長／自民党県連総務会長
山形県紅花生産組合連合会会長

- 安心して暮らすことができる環境を!
- 医療と福祉が連携した介護環境の向上
- 高齢化・人口減少社会に対応した生活交通の確保
- 新しい時代に対応した農林水産業の振興

- 子どもたちの未来を守りたい!
- 貧困の連鎖を断ち切るための子どもたちに寄り添った支援
- 発達障がい児の診察待ち時間の改善と医ケア児の環境整備
- 児童虐待防止対策の強化

子どもたちの未来を守りたい!

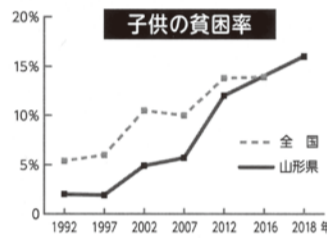
- 真に必要なインフラの整備をすすめる!
- 東北を俯瞰した山形県の交通体系のビジョン策定
- 山形新幹線のトンネル建設とフル規格新幹線の整備
- 山形県と宮城県を結ぶ横軸ルートの整備促進
(仙山線の抜本改革や二〇トンネル構想など)

真に必要なインフラの整備をすすめる!

- 首都圏に集中する若者・女性・外国人の地方分散
- 山形ならではの価値観や強みを効果的に発信する広報戦略
- 南東北3県の環状ルートを活用した観光・経済・物流の振興

人口減少に歯止めをかける!

残念ながら、山形県の子どもの貧困率は右肩上がりです。子どもたちが温かいご飯をお腹いっぱい食べて笑顔で過ごすことができる、そんな当たり前の県にするためにやらなければならないことは山積しています。山形県がもっと前に進むことができるよう精いっぱい力を尽くしたいと思います。



3期12年間県政に携わり感じていることは、もっと豊かさが実感できる山形県にしたいということです。歯止めがかからない人口減少、遅れているインフラ整備、子どもたちを取り巻く厳しい環境。これら抱えている課題を一つひとつ着実に解決することができれば、山形県はもっと前に進むことができます。真に必要なインフラを整備し、山形県ならではの価値観や強みを県内外に効果的に発信することで、多くの人やモノが集まります。そうすれば、さまざまな産業に影響が及び、経済の好循環が生まれ、県民所得の向上につながります。

四期目に挑戦する私の思い



自由民主党公認

大内りか

投票日 4月7日(日)

投票日に用事がある方は、4月6日(土)まで

期日前投票ができます。

◇期日前投票の制度があります。

投票日に用事があり投票所に行けない方は、3月30日(告示日の翌日)から4月6日(投票日の前日)までの間に、前もって投票することができます。

詳しくは、お住まいの市町村の選挙管理委員会へお問い合わせください。

◇入場券をお持ちください。

投票所にお出かけの際には、入場券をお持ちください。

もし、入場券を忘れたときや、入場券が配られなかったときは、投票所の受付係に申し出ていただき、御本人と確認されれば投票することができます。

